つみきのくらし

日々の暮らしの中で、こども園つみきとして大切にしたいことや、こどもの素敵な姿をお伝えしていきます。

井鳥　佳織

こども園つみきでは、**生きる力**の源である『非認知能力』を遊びの中で培っていきます。受け身な活動よりも主体的・対話的な遊びの時間を増やし、五感を存分に使って遊び込むことを大切にしていきます。

今後も更に、子どもも大人もホッとできる空間作り・子ども達のやってみたいをかなえていくよう、環境整備や園庭整備は続けていきます。また、更に水の使用を柔軟にしたり、新しい遊具を設置したりするなど、毎日の暮らしの中に『やってみたい・遊びたい・ここに居たい』が保障されるこども園を目指していきます。

先日の歯科健診でのこと。ホールで暮らしているきりん組さんが、歯科健診を受けて泣いているうさぎ・りす組の子たちの様子を気にかけていました。

『自分が出来ることは何だろう？』と考えたのでしょう。「つれていくか？」（歯科健診を終えた子たちをお部屋へ）と私に声をかけてくれました。「ありがとう」と伝えると、【まかせて】という表情で手を繋いでお部屋に連れて行ってくれました。

それを見ていた他の子も「いこう」と自然に手を繋いでいました。（心がとてもあたたかくなりました）

ホールで暮らしていることで、自分以外の暮らしに目を向け、その中にいろいろな『やりたい』が見えたり感じたりしているきりん組さんです。

４ 月22日（金）にワークショップ用の木材を運搬してきました。私と園長先生がトラックから木材を園内に運ぼうとしていると、園庭で遊んでいたきりん組の子が「はこぶ」と木材を運んでくれました。それを見ていたこあら組の子達。じーっと大きい子達の様子を観察しているなぁと思って見ていたら、自分達もやりたいと参加し始めました。

大きい子たちのたくましさや楽しんでいる姿を自分なりに感じ取り、自分の心の『やってみたい』が動いた瞬間に素敵だなぁと感じました。こういう心の動きがたくさん生まれるこども園でありたいです。